

2018年(平成30年)7月24日(火曜日)

三島駅南口の再開発事業

市長に見直し要望書

NPOと市民団体

三島市のJＲ三島駅南口一帯、地元のNPO法人「グ
東街区の再開発事業を巡る」ラウンドワーク（GW）三

島」と「三島駅南口の整備
を考える市民の会」が二十
三日、事業の中止と内容の
見直しを求める要望書を豊
岡武士市長に提出した。豊
岡市長は「中止する考えは
ない」と応じた。

東街区再開発事業は、一
・三島の土地に商業施設や



再開発事業の中止などを求める渡辺豊博さん(左から2人目)＝三島市役所で

高層マンション、駐車場な
などを整備する。事業協力者
の公募でミサワホームが代
表の共同企業体を選ばれ、
市や地権者による再開発準
備組合と協議している。

要望書では、事業の中止
と内容の見直しのほか、市
民総意の計画づくりに向け
た公開討論会の開催、地下

水の環境アセスメント調査
などを求めている。

GW三島専務理事で市民
の会代表の渡辺豊博さんは
「きちんと情報公開し、多
くの市民の声を聞いて合意
点をみつけてほしい」と訴
えた。豊岡市長は「市の持
続的な発展を考えた時に不
可欠だ」と説いた。渡辺さ
んは再開発事業をテーマに
八月月上旬に開催予定の市民
シンポジウムへの出席を打
診したが、豊岡市長は「難
しい」と拒否した。

渡辺さんが「市民と協力
して再開発を中止に追い込
む」と決意を述べると、豊
岡市長は「中止させるなら
私を殺してからしてくだ
さい」と声を荒らげ、靴を
脱ぎ手を合わせて座り込ん
だ。市長の突然の行動にそ
の場は一時騒然となった。

面会後、渡辺さんは「リ
ーダーとしての責務を果た
していない」と豊岡市長を
批判。一方、豊岡市長は
「残念ながら再開発事業に
ついて理解しよつとしてい

ない」と硬い表情で話した。
(佐久間博康)